

ワークショップの意気込み／PR

藍に興味を持ったきっかけ

2年間勤めた会社を辞め、今の社会への違和感から熊本県にあるエコビレッジに行った。

そこにいた藍染職人に教わって藍染を体験したとき、その藍の色の美しさと染めている時の手応え、気持ちの良い染まり具合を探っている時間の幸福感に魅了され、その感覚が忘れられず強く興味を持った。自分のやりたいことはこれだ、と思った。

僕にとって藍を学ぶ意味

エコビレッジを訪れ、パーカルチャーという概念にも強く興味を持った。自然と人間がうまく共存し、みんなにとって幸せで持続可能な世界を僕もみてみたい、つくりたいと思うようになった。

藍染というものにも、自然の恩恵を受けつつも自然と手応えを持って関わり自然を尊重する側面を感じ、かつ染め直すことでものを無駄にせず大切にすることもできるので、自分みたいな世界を作るに当たって重なるものがあると感じた。

また、昔からものづくりが好きで自分の店をもって自分の作ったものを売るということが夢のひとつだったので、かねてからの夢と今の興味がカチッとハマる感覚があった。

応募したきっかけ

どこかで藍を学びたいと思いSNSで藍染に関する情報をを集めている中、BAISOU.さんを知り、単純にかっこいい、自分もこんなことをしたいと強く思うようになった。その後もSNSを欠かさずチェックしていたら今回のワークショップの募集を見つけ、タイミングも含め運命的なものを感じ、応募することを決めた。

藍を学んでやりたいこと

自分の工房をもって、自分でデザインし染めたものを販売することや藍染を通して手応えを持って自然と関わる機会を提供することを自分の生業にしたい。その商品や体験を通して、自分がみたいと思う世界をつくりたい。

また、この藍染という美しい伝統技術を今の時代にフィットする形でより広めていきたい。

意気込み

だれよりも興味を持って真剣に学ぶ自信と覚悟があります。よろしくお願ひ致します！

松村 真仁

藍に興味を持った きっかけ

新卒で「ここだ！」と思い入った会社で仕事をしている中で、知らず知らずのうちに自分の大事にしたいものをどんどん犠牲にしてしまっていることに気づいた。それは、「体の健康」や「自分の心に嘘をつかないこと」、「心惹かれることになにより時間と労力をかけること」。自分で自分を殺してしまっている状況を変えたくて、そして会社という組織の中で知らず知らずのうちに苦しくなってしまう人が多い今の社会に違和感を感じて、マジョリティーであるいわゆる会社員じゃない生き方をしてみたいと思い、2年間勤めた会社を退職した。もっといろんな生き方があって良いはずだし、そういう世界を僕は見てみたい、つくりたいと思ったから。

退職後すぐ、会社員や資本主義から距離のあるコミュニティに行ってみたくて、熊本県にあるエコビレッジを訪れた。そこにいる人たちはいわゆる社会のマジョリティとは外れているけど、ちゃんと自分たちの大変なものをわかっていて、それを大事にできていた。みんな良い顔してた。そこで農作業やコミュニティ運営のお手伝いをしている中で、自分の心も体もすごく元気になっていくのを感じた。大事にしたいものをちゃんと大事にできる生き方をしたいと思って会社を辞めここに飛び込んだ自分の感覚は間違ってなかったと思えた。それがすごくすごく嬉しかった。

そんな中、そのエコビレッジにいた藍染職人に教わって藍染を体験したとき、その藍の色の引き込まれるような美しさと染めている時の手応え、気持ちの良い染まり具合を探っている時間の幸福感が忘れられず、「あ、自分はきっとこれからこれをやっていくんだな」と不思議とふに落ちる感覚を感じた。「これだ」と思った。その後も藍について調べるようになり、その気持ちはどんどん大きくなっていた。

意気込み

だれよりも興味を持って真剣に学ぶ自信があります。一つ一つにこだわりを持って丁寧にものづくりすることが好きで、魅せ方まで考えてデザインすることが得意です。よろしくお願ひ致します！

応募したきっかけ

どこかで藍を学びたいと思いSNSで藍染に関する情報を集めている中、BUAISOU.さんを知り、日本の伝統技術をスタイリッシュに魅せ今の時代にもフィットする形で活動するかっこよさに憧れを抱くようになった。その後もSNSを欠かさずチェックしていたら今回のワークショップの募集を見つけ、「自分のためのワークショップではないか」と思うほどタイミングも含め運命的なものを感じ、応募を決めた。

僕にとって藍を学ぶ意味

エコビレッジを訪れ、パーカルチャーという概念にも強く興味を持った。ワクワクした。自然と人がうまく共存し、みんなにとって幸せで持続可能な世界を僕もみてみたい、つくりたいと思うようになった。

なによりもまず、自分の暮らしや仕事だけでも、パーカルチャー的に再構築したいと思ったしそうすることで自分の生き方に自分でより納得できると思った。

藍染はそういう文脈においてもパズルのピースがきれいにハマるような感覚が自分の中であった。

藍を学んでやりたいこと

自分の工房をもち、自分でデザインし自分で染めたものを販売したい。藍染という手仕事を自分の生業にしたい。

また、「自然のありがたみや美しさを感じながら自然を思いやって生きる幸福感」や「ただ消費していくだけじゃなく物に愛着を持って長く使うことの心地よさ」、「日本の伝統技術や手仕事の面白さ」を藍染を通して伝えていきたい。

藍に興味を持ったきっかけ

僕は新卒で「ここだ！」と思い入った会社で仕事をしている中で、知らず知らずのうちに自分が大事にしたいものを犠牲にしてしまっていることに気づいた。

自分が大事にしたいものは2つあって、1つ目は自分の体の健康や自分の心に嘘をつかないことだ。もう一言どういうことなのか加える

2つ目は心惹かれることに時間と労力をかけることだ。もう一言どういうことなのか加える

自分で自分を殺してしまっている状況や、会社という組織の中で知らず知らずのうちに苦しくなってしまう今の社会を変えたい、そう思って2年間勤めた会社を退職した。

もっといろんな生き方があって良いはずだし、そういう世界を僕は見てみたい、つくりたいと僕は思う。

退職後すぐ、会社員や資本主義から距離のあるコミュニティに触れるため、熊本県にあるエコビレッジを訪れた。そこにいる人たちはいわゆる社会のマジョリティとは外れているけど、ちゃんと自分たちの大切なものを自分でわかっていて、それを大事にできていた。みんな良い顔してた。そこで農作業やコミュニティ運営のお手伝いをしている中で、自分自身の心も体もすごく元気になって、幸せだった。自分の大事にしたいものをちゃんと大事にしたいと思って会社を辞め、ここに飛び込んだ自分の感覚は間違ってなかったと思った。それがすごく嬉しかった。

そんな中、エコビレッジにいた藍染職人に教わって藍染を体験したとき、その藍の色の引き込まれるような美しさと染めている時の手応え、気持ちの良い染まり具合を探っている時間の幸福感が忘れられず、「あ、自分はきっとこれからこれをやっていくんだな」と不思議とふに落ちる感覚を感じた。「これだ」と思った。その後も藍について調べるようになり、その気持ちはどんどん大きくなっていった。

文章区切ったり自分が自分がうるさいので言い方変えました！

・大事な物をちゃんと大事にできる生き方をしたい

└大事にしたい物3つ

・でも会社員の生活の中ではそれができなかっ→そうじゃない生き方を決意

・それができる方法を探りたくてサイハテへ

・そこにいる人たちに出会い、手伝う中で掴めたものがあった

└自然に触れながらそのリズムの中で生きる心地よさ・幸福感／パーマカルチャー

└余白を持って生きることの大しさ

└藍染体験での幸福感

・自分のやりたいことの再確認

└自然／ものづくり／パーマカルチャー

・

意気込み

だれよりも興味を持って真剣に学ぶ自信があります。一つ一つにこだわりを持って丁寧にものづくりすることが好きで、魅せ方まで考えてデザインすることが得意です。よろしくお願ひ致します！

何かきっかけに比べて急激に内容が薄い。興味を持ったきっかけの内容が既に意気込みっぽいからなのがなって思った。きっかけと意気込みを合わせてきっかけがある→真剣に学ぶ自信がある！みたいな流れにするのが良いかも。エコビレッジに行くまでとその後+意気込みっていう形に構成を変えた方が分かりやすいかも

応募したきっかけ

どこかで藍を学びたいと思い、SNSで藍染に関する情報をを集めている中、BUAISOU.さんを知った。日本の伝統技術をスタイリッシュに魅せ、今の時代にもフィットする形で活動するかっこよさに憧れを抱くようになった。その後もSNSを欠かさずチェックしていたら、今回のワークショップの募集を見つけた。

ちょうど、藍染と自分の運命を感じていたこともあり、まるで「自分のためのワークショップではないか」と思い、応募を決めた。

傾向として1文が長くなりやすく、分かりにくいのでちょいちょい区切りました！

僕にとって藍を学ぶ意味

エコビレッジを訪れ、パーマカルチャーという概念にも強く興味を持った。ワクワクした。自然と人がうまく共存し、みんなにとって幸せで持続可能な世界を僕もみてみたい、つくりたいと思うようになった。

なによりもまず、自分の暮らしや仕事だけでも、パーマカルチャー的に再構築したいと思ったしそうすることで自分の生き方に自分でより納得できると思った。

藍染はそういう文脈においてもパズルのピースがきれいにハマるような感覚が自分の中であった。

自然と共に生む会社員的な生活って構図は結構良い気がするんだけどもうちょっとパンチが弱い気がする。

あと自分自分うるさいw

ここのパートはこれで良い気もするけどもうちょっと深められそうな気もする、けどどうすれば良いのか浮かばないのでパス！

藍を学んでやりたいこと

自分の工房をもち、自分でデザインし自分で染めたものを販売したい。藍染という手仕事を自分の生業にしたい。

また、「自然のありがたみや美しさを感じながら自然を思いやって生きる幸福感」や「ただ消費していくだけじゃなく物に愛着を持って長く使うことの心地よさ」、「日本の伝統技術や手仕事の面白さ」を藍染を通して伝えていきたい。

ここはシンプルで分かりやすい